

鹿行地域内の格差解消は 広域交通網整備で産業振興を図る

議員(自民) 鹿行地域の地域間格差が広がっている。均衡ある発展をどう実現していくのか伺う。

知事 今後整備される広域交通網により北浦複合団地などへの企業立地が期待されるため、企業誘致活動に積極的に取り組む。豊富な農産物を活かした新商品開発などによる地域産業活性化や豊かな自然を生かした交流人口の拡大などで、鹿行北部地域の振興を図っていく。

議員 銚田市を中心とした本県畜産業の未来のため、銚田市のバイオマス※タウン構想作成をどう支援していくのか伺う。

農林水産部長 銚田市は農業、畜産業とも全国トップクラスの



地域産業活性化の資源である豊富な農産物

生産地で、今後の畜産業発展には家畜排泄物のバイオマス利用を促進し、環境に配慮した畜産の推進が必要と認識している。市や地域の関係者に、より一層積極的に働きかけていく。(ほかに、メロン農家の経営安定策、小中学校の校庭の芝生化なども質問)

二酸化炭素削減につながる対策は 家庭でのエコライフ実践などを推進

議員(公明) 単なる啓発活動にとどまらず、県が主導してライトダウン運動など二酸化炭素削減効果のより高い温暖化対策を打ち出すべきだが、どのように推進するのか。

知事 家庭でのエコライフ実践や事業所の省エネ機器導入、今年度からエコドライブ実践などを推進。今後も一層推進し新エネルギーの普及などで低炭素型の社会づくりに努めていく。

議員 思春期は心やからだの発達が目覚しく、その分、問題を抱えやすい時期。未来を担う子どもたちが一人も漏れなく思春期を乗り越え、社会人として自立できるように、学校、保健所、医療機関、警察、民間団体など



エコドライブ講習会の様子

関係機関が連携強化し支援する総合対策が必要だが所見は。

保健福祉部長 平成十四年度から児童・思春期地域連絡会議で関係者が支援策を検討し、問題解決を図っている。今後も関係機関や民間支援団体との連携を深め、対策に取り組んでいく。(ほかに、発達障害者支援と特別支援教育の充実なども質問)

●質問者

- 田所 嘉徳 (自由民主党)
- 佐藤 光雄 (民主 党)
- 鈴木せつ子 (自由民主党)
- 石井 邦一 (自由民主党)
- 鈴木 徳穂 (自由民主党)
- 本澤 徹 (自由民主党)
- 大高 伸一 (自由民主党)
- 飯岡 英之 (自由民主党)
- 田村けい子 (公明 党)

県議会を傍聴しませんか

県民のみならず選んだ代表者が、議会でのようなことをどのように審議しているのかを覗きただけです。本会議の傍聴を希望される方は、当日、県議会議事堂の五階傍聴受付をお尋ねください。傍聴券を受け取りご入場いただけます。傍聴席は三百席で先着順です。なお、詳細について知りたい方、委員会の傍聴の仕方などについて知りたい方は、議会事務局議事課にお尋ねください。【お問い合わせ先】電話 〇二九一三〇一一五三三四 FAX 〇二九一三〇一一五六二一九

地域コミュニティ再生への取り組みは 県民・地域が主役の茨城づくりを推進

議員(自民) 安全で安心して暮らせる地域づくりのためには、自治会や町内会といった地域コミュニティの再生が急務である。県として、どのように取り組んでいくのか伺う。

知事 ご近所の底力活性化推進事業などを通して、地域活動団体同士のネットワーク化を促進し、地域が本来持っている力を引き出すことで、県民・地域が主役である元気で住みよい茨城

づくりを積極的に推進していく。議員 増加する救急搬送に対応するため、必要な情報を迅速かつ正確に把握するための情報システムの一新が必要である。救急医療情報体制の充実に向けた取り組みについて伺う。

保健福祉部長 県救急医療対策検討会議の提言を踏まえ、まずは現在の救急医療情報システムがより有効に機能するように、改善や運用方法の見直しに努める。



地域コミュニティの再生が急務

(ほかに、地域ケアシステムを活用したターミナルケア、ロボット技術を活かした産業の振興、災害時における水道の危機管理なども質問)

今後の本県農業行政の進め方は 茨城農業改革に全力で取り組む

議員(自民) 農林水産部が他部局と一層連携を深めることで、茨城農業改革の推進に大きな効果が期待できると考えるが、今後の本県の農業行政の進め方について所見を伺う。

農林水産部長 エコ農業茨城の取り組みを県内外にPRし、本県農業・農村・農産物のイメージアップを図るなど、他部局との連携を一層図りながら、全国をリードする足腰の強い茨城農

業を確立するための農業改革に全力で取り組んでいく。議員 地産地消の推進のためには、将来を担う若い世代に対する働きかけが重要であり、学校給食での取り組みが鍵になると考えるが、米飯給食の促進策は。

教育長 茨城農政事務所や農林水産部と

連携を図りながら、改めて中学校における米飯給食の促進について、市町村に対し、働きかけていく。(ほかに、食料自給率の向上、新たなつくばの将来像なども質問)



茨城農業改革パンフレット

※【バイオマス】…再生可能な、生物由来の有機性資源で化石資源を除いたもの。バイオマスタウンとは、安定的かつ適正なバイオマス利活用が行われる地域のこと。